

高知空港

昭和四十五年に県が「高知空港周辺地域開発基本構想」を発表して以来足掛け十四年——今年十六日から、いよいよジェット機時代を迎えるため、二千㍎の滑走路やターミナルビルが真新しい姿を現わしました。新

滑走路とターミナルビルを結ぶ誘導路の建設や事務所売店などの引越作業が行われ、ジェット機を迎えるばかりとなっています。この新しく生まれ変わった空港をカメラで捕えてみました。

約22億円をかけて建設された空港ターミナルビル(12月7日)



空の玄関生まれ変わる

足掛け14年、300億円余を投じ



ジェット機就航を数日後に控え、2000メートルの滑走路の仕上げ工事が急ピッチで行われていた(12月7日)

衆議院議員選挙

最高裁判所裁判官国民審査

12月18日(日)投票